

## 2016 年天文教育普及研究会年会のお知らせ（第三報）

寺 蘭 淳 也（年会実行委員長・会津大学）

2016 年の天文教育普及研究会年会（第 30 回天文教育研究会）は東北支部が担当し、仙台市で開催します。本研究会としては東日本大震災後初の東北開催となります。夏の仙台といえば、天文ともゆかりの深い仙台七夕まつりが開催されるなど、観光シーズンでもあります。ホテルの確保などお早めの旅行計画をお願いします。

\* \* \* \* \*

第 30 回天文教育研究会・2016 年天文教育普及研究会年会のご案内（会誌版第 3 報）

日時：2016 年 8 月 21 日（日）～ 8 月 23 日（火）

会場：東北大学 理学研究科合同 C 棟 2 階 青葉サイエンスホール

<http://www.sci.tohoku.ac.jp/campusmap/kita-aobayama/>

主催：天文教育普及研究会

後援：宮城県教育委員会、日本天文学会、日本惑星科学会、日本プラネタリウム協議会、  
日本公開天文台協会

対象：学校教育機関、社会教育機関、一般の天文普及活動などで天文の教育・普及に携わっている人、あるいは関心のある人、および天文教育普及研究会会員

趣旨：天文教育の振興および天文教育普及活動の推進

### 〔会場へのアクセス〕

最寄駅：仙台市営地下鉄東西線 青葉山駅 徒歩 1 分

・JR 仙台駅から仙台市営地下鉄東西線に乗り換えて約 10 分

・仙台空港から JR 仙台駅までは、仙台空港アクセス線で約 30 分

青葉サイエンスホールは、地下鉄青葉山駅を降り、北 1 出口を出てすぐ左側にみえるセブンイレブンのある大きな建物です。

なお、自家用車でのご来場ですが、青葉山キャンパスは駐車場の数が限られます。最寄りの有料駐車場は「せんだい青葉山交流広場駐車場」ですので、ここに駐車の上、国際センターから地下鉄で青葉山駅までお越しくください（2 駅）。

荷物の運搬などでどうしても会場まで車で来る必要がある場合は主催者までご相談ください（せんだい青葉山交流広場駐車場…<http://www.aobayama.jp/access/parking.html>）。

### 〔メインテーマ〕 天文教育で日本を元気にする～宇宙と親しみ、人とつながる～

今年のア天文教育研究会では、東日本大震災後初の東北開催ということも考慮し、「天文教育で日本を元気にする～宇宙と親しみ、人とつながる～」をメインテーマとしました。

平成 23 年（2011 年）に発生した東日本大震災では、東北地方を中心とする広範囲で未曾有の被害が発生しました。この震災から 5 年が経過し、復興支援は、いわゆる「ものの復興」（街や建物、インフラの再建）から、人々の心の復興（震災から立ち直り、自立へと導く支

援)へと舵を切り替えることが求められています。震災直後から、特に甚大な被害を受けた岩手・宮城・福島の各県では、天文教育関係者が、自分たちでできる数多くの震災支援(主に心の支援)を実施してきました。他の様々な「心の復興」の取り組みに比べると、天文・宇宙を利用した心の復興は、以下のような利点があります。

- ・ 空を見上げるといふ、誰でもが行える活動を中心としているので、活動参加に対しての敷居が非常に低い。特に同じ星空を見ているということで、他の被災者との連帯を感じやすい。
- ・ 少人数でも大人数でも、また田舎でも街中でも行えるという柔軟性がある。
- ・ 天文・宇宙を通じた「見る側」と「行う側」の双方向性のコミュニケーションにより、コミュニケーションの円滑化、活発化が促進され、引きこもりがちとなる被災者にとって大きな心の支援につながる。

こうした被災地での天文教育支援の活動報告とそこから得た教訓や知見をもとに、そのような活動の主催者側と参加者側の両方の声を聞くことを通して、宇宙とその学びを通じた人的ネットワークのありかたとその価値について、本会では議論していきたいと考えています。

本研究会ではまた、このテーマとは直接関連しない天文教育普及に関する一般的な講演や議論も、学校教育・社会教育・一般教育というカテゴリーごとに行うことで、広く日本の天文教育普及に関する情報交換の場となる研究会を目指します。

#### 〔参加費(予定)〕

一般(会員)	2,000円
学生(会員)	1,000円
非会員	+1,000円(集録代にあてます)
高校生以下	無料

#### 〔情報交換会(懇親会)〕

会期2日目の8月22日(月)の夜に、青葉サイエンスホール内での開催を予定しております。青葉サイエンスホールの隣にはレストランがあるほか、会場前ロビー全体を広く利用して懇談が可能です。また外に出ることもできます。天気がよければ(街中ではありますが、高台ですので)美しい夏の東北の星空を眺めることも可能かも知れません。

なお、懇親会につきましては、別途会場受付時に費用をお支払いいただきます。下の参加申し込みにてあらかじめお申し込みいただけますと助かります(学会会場での申し込みも可能ですが、人数把握の都合上、できるだけ事前のお申し込みをお願いいたします)。

参加費(予定)：参加費：4,000円(一般)／2,000円(学生)

#### 〔オプションツアー〕

今回は、仙台市天文台へのオプションツアーを企画しています。

1955年に開館してから昨年で60年を迎えた仙台市天文台。2008年に仙台市郊外の錦ヶ丘に移転してから来館者数は250万人を超えました。

そんな仙台市天文台の展示室や1.3mひとみ望遠鏡、プラネタリウムを見学します。

---

---

**■ スケジュール (予定)**

2016 年 8 月 23 日 (火) (研究会最終日)

14:00 東北大学出発

14:30 仙台市天文台着

14:30 - 15:00 展示室見学

15:00 - 15:30 バックヤード等見学 (予定)

15:30 - 15:50 ひとみ望遠鏡見学

16:00 - 16:45 プラネタリウム (星空の時間) 見学

17:00 仙台市天文台解散 ※年会会場には戻りません。ご注意ください。

**■ 料金**

参加は無料ですが、移動の代金を頂きます。貸切バスの場合は料金が 1000 円程度かかります。タクシーとなる可能性もあります。

(スケジュール的に公共の交通機関での移動では間に合いません)

**■ 申込み**

研究会の参加申し込みとは別に、参加希望メールを 7 月 29 日 (金) までにお送りください。

件名: 仙台市天文台ツアー申込み

内容: 参加希望者のお名前 (随行される方のお名前も)

ご連絡先 (電話番号とメールアドレス) をご記入ください

宛先: nenkai2016@tenkyo.net

なお、別途企画しておりました三陸鉄道による三陸沿岸をめぐるツアーにつきましては、期限までのお申し込みが最少催行人数に達しなかったため、中止となりました。あらかじめご了承ください。

**[プログラム]**

以下のプログラムは、7 月 10 日現在のものです。最終確定になるまでに若干の変更が行われる可能性があります。

確定時のプログラムは、下記年会のホームページに掲載いたします。

また、今回講演のお申し込みが大変多くなりましたことから、口頭発表の時間を 1 人あたり 9 分 (+ 質疑応答 3 分) とさせていただきました。昨年より短いのですが、何卒ご了承くださいますとともに、発表者の方はご準備、及び時間厳守へのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

**・ 口頭発表をされる方へ**

会場ではプロジェクター接続が可能です。コンピューターを使用される方は VGA または HDMI 接続にてご利用いただけます。当日、会場には事務局側でパソコンをご用意いたしますが、特に音声や動画などを含む発表を行う場合には、ご自身のコンピューターをご利用いただくことを強くおすすめいたします。

---

---

口頭講演プログラム（特に断りの無い限り 9 分講演+3 分質疑）

○1 日目（8 月 21 日）

- 13:00 寺菌淳也（会津大学） はじめに（10 分）  
13:10 高木浩一（岩手大学） ※特別講演（32 分+8 分）  
宇宙教育と連携したポスト 3.11 型学習の構築と実践

〔一般発表 1〕 座長：嶺重 慎

- 13:50 寺菌淳也（会津大学）  
月探査情報ステーションの新ステージ  
～大規模リニューアルの効果、ユーザー動向の把握～  
14:02 亀谷和久（国立天文台）  
世界とつながる科学ライブショー  
14:14 大江尚子（星と宙の工房 TeruTeruZa）  
「宙（そら）のある生活」「動く星空布絵本」  
～天文クラフト・宇宙グッズによる天文解説の事例報告  
14:26 間瀬康文（特定非営利活動法人ギガスター）  
超高精細星空再現装置の天文教育における活用  
14:38 高島規子（国立天文台）  
「天文台のあるまち三鷹」のとりくみ  
14:50 休憩・ポスタータイム（20 分）

〔一般発表 2〕 座長：安藤享平

- 15:10 水野孝雄（元 東京学芸大学）  
天体（星空）観望会支援団体/個人リストへの登録募集  
15:22 藤田登起子（国立天文台）  
天文学者派遣プログラム「ふれあい天文学」  
15:34 若月聡（東京理科大学 東邦大学 日本大学）  
理工系学生に観る幼児期児童期における天文体験のキャリア形成的意義  
15:46 亀谷光（仙台市天文台）  
月の満ち欠けにおける児童の空間認識の実態調査  
～小学校と天文台の連携による学習より～  
15:58 宮下和久（長野県塩尻市立丘中学校）  
自作の観測器具を用いた太陽の動きの観測から地球の公転のしくみをとらえる  
～継続的な追究を支えるための中学校の部活動（科学部天文班）の指導～  
16:10 高田淑子（宮城教育大学）  
宮城教育大学インターネット望遠鏡のご紹介  
16:22 宮川祐一（仁愛大学）  
天文教育に係る免許更新講座の実施報告（仮題）

- 
- 16:34 石田光宏（横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校）  
横浜サイエンスフロンティア高校「課題研究」における天文分野の取組みⅡ
- 16:46 山田隆文（奈良県立青翔中学校・高等学校）  
青翔高校における天文分野の探究活動
- 16:58 縣秀彦（国立天文台）  
高等学校理科、総合基礎科目の新設は可能か？
- 17:10 休憩・ポスタータイム（20分）
- 17:30 天文教育普及研究会法人化に関する全体議論（30分）
- 18:00 天文教育普及研究会運営委員会（90分）

## ○2日目（8月22日）

- 〔WG報告＋一般発表3＋特別講演〕座長：亀谷收
- 9:00 飯塚礼子（日食情報センター/明星大学通信大学院）  
系外惑星命名支援WGのまとめ
- 9:12 臼田・佐藤功美子（国立天文台）  
IAU 太陽系外惑星命名キャンペーンにおける日本語サポートの評価
- 9:24 嶺重慎（京都大学）  
日本手話WGの目的と活動
- 9:36 斉藤秀樹（長野市立博物館）  
日本中国の文献から探る超新星の明るさ予想
- 9:48 岩崎仁美（仙台市天文台）  
アンドロメダファイト ～カードゲームを用いた天文教育普及活動～
- 10:00 加藤恒彦（国立天文台4次元デジタル宇宙プロジェクト）  
4次元デジタル宇宙ビューワーMitaka～最新機能と今後の展望
- 10:12 波田野聡美（国立天文台）  
4次元デジタル宇宙ビューワーMitakaの天文教育への利用
- 10:24 高橋真理子（星空工房アルリシャ） ※特別講演（24分＋6分）  
病院がプラネタリウムーホンモノの星空が見られない人に届ける星空
- 10:54 ポスター紹介1分講演（16分）
- 11:09 昼休み・ポスタータイム（71分）

## 〔テーマセッション〕座長：寺菌淳也

- 12:20 笠井香代子（宮城教育大学） ※特別講演（24分＋6分）  
宇宙をテーマにした理科実験教室と気仙沼への展開
- 12:50 柴田晋平（山形大学）・佐々木祥子（大船渡市）・岡淵富悦（宙詠みサークル・朔）  
※特別講演（32分＋8分）  
大船渡市での天文教育活動 星のソムリエ講座

- 13:30 安藤享平 (郡山市ふれあい科学館)  
東日本大震災から現在までの郡山市ふれあい科学館での活動  
～原子力災害を乗り越え天文教育で福島県を元気にする～
- 13:42 田中慎悟 (加古川総合文化センター)  
こども☆ひかりプロジェクトの紹介－東日本大震災支援－
- 13:54 テーマディスカッション 「今後、私たちにできること」 (仮題) (36分)
- 14:30 休憩・ポスタータイム (30分)

〔一般発表 4+特別講演〕 座長：高田淑子

- 15:00 松本直記 (慶應義塾高等学校)  
第 18 回日本天文学会ジュニアセッションにおけるアンケート調査
- 15:12 船越浩海 (生涯学習センターハートピア安八・天文台/プラネタリウム)  
ハートピア安八天文台での 小中学生天文研究指導の現場から
- 15:24 三戸洋之 (東京大学木曾観測所)  
高校生向け天文学実習「銀河学校」
- 15:36 楠絵莉子 (ISAS/JAXA, 東京大学)  
「君が作る宇宙ミッション」における宇宙教育活動の取り組み
- 15:48 服部誠 (東北大学)  
高校生のための天文学者体験企画「もし天」について
- 16:00 田中幹人 (東北大学) ※特別講演 (24分+6分)  
大学教育におけるアクティブラーニング型の天文教育
- 16:30 天文教育普及研究会 総会 (90分)
- 18:00 情報交換会 (120分)

○3日目 (8月23日)

〔特別講演+一般発表 5〕 座長：荒木田英禎

- 9:40 遊佐徹 (大崎生涯学習センター) ※特別講演 (24分+6分)  
大崎生涯学習センターにおける学校との連携事業について
- 10:10 坂江隆志 (埼玉県立浦和西高等学校)  
自作分光器による太陽の物理観測
- 10:22 直井雅文 (埼玉県立浦和高等学校)  
簡易自作分光器を使った高校における課題研究の充実
- 10:34 大西浩次 (長野工業高等専門学校)  
重力波で天文教育
- 10:46 伊藤芳春 (聖和学園高等学校)  
60mm 天体望遠鏡で見える 60 天体
- 10:58 昼休み・ポスタータイム (62分)

〔一般発表 6+ 特別講演〕 座長：津村耕司

- 12:00 亀谷 收（国立天文台水沢 VLBI 観測所）  
国立天文台水沢 VLBI 観測所における広報活動と木村榮記念館
- 12:12 坂部健太（京都産業大学 神山天文台サポートチーム）  
神山天文台サポートチーム ～5年間の活動とこれからの展望～
- 12:24 西村昌能  
花山天文台観測実習の14年
- 12:36 土佐誠（仙台市天文台） ※特別講演（24分+6分）  
仙台市天文台での活動
- 13:06 全体議論（34分）
- 13:40 縣秀彦（国立天文台）  
おわりに
- 14:00- 仙台市天文台 ツアー

### ○ポスター発表

1. 縣秀彦（国立天文台）  
国際天文学連合・国際普及室（IAU・OAO）の活動紹介
2. Lina Canas（IAU 国際普及室/国立天文台）ほか  
ユニバーサル天文ワークショップ - 国際協力と支援
3. 福澄孝博（北海道大学）  
生涯学習施設支援WG纏めの年度突入！～現状報告とこれから～
4. 鷹野重之（九州産業大学）  
天文教育論文アーカイブ創設への道
5. 水野孝雄（元 東京学芸大学）  
天体（星空）観望会支援団体/個人リストへの登録募集
6. 大西浩次（長野工業高等専門学校）  
入試問題から見える天文教育の問題
7. 坂江隆志（埼玉県立浦和西高等学校）  
太陽の高分散高分解能スペクトル教材の制作
8. 穂積正人（兵庫県立舞子高等学校）  
Mitaka による、3D「宇宙旅行」の上映
9. 津村耕司（東北大学）  
持ち運び可能な Mitaka の立体上映システムの構築
10. 松村雅文（香川大学）  
プラネタリウムを用いた天文教育：視点の移動を目指して
11. 間瀬康文（特定非営利活動法人ギガスター）  
超高精細星空再現装置の天文教育における活用

- 1 2. 大江尚子 (星と宙の工房 TeruTeruZa)  
天文クラフト・宇宙グッズによる星空案内・天文解説の実施例の報告
- 1 3. 宮下和久 (長野県塩尻市立丘中学校)  
金環日食観測記念日時計の制作・設置と地域との連携
- 1 4. 富谷弘・伊藤芳春 (聖和学園高等学校)  
「モチモチの木」の月物語
- 1 5. 寺菌淳也 (会津大学)  
月探査情報ステーションについて

#### 〔参加申し込み〕

このあとのページにある申込書にご記入の上、メール・FAX・郵送にて8月5日(金)までにお申し込みください。データ整理の都合上、できるだけメールでの参加申込にご協力お願いします。

※講演申し込みは7月1日で締め切りました。

#### ○郵送・メールの場合

申し込みフォームの内容を [nenkai2016@tenkyo.net](mailto:nenkai2016@tenkyo.net) までお送りください

※実行委員宛アドレスとは異なります。ご注意ください。

#### ○郵送・FAXの場合

寺菌 淳也 宛

〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀 会津大学 企画運営室

FAX: 0242-37-2531

※封書の場合には「学会申し込み在中」と朱書きをしていただくようお願いいたします。

#### 〔今後の予定など〕

- |       |                         |
|-------|-------------------------|
| 7月29日 | 仙台市天文台オプションツアー申し込み締め切り  |
| 7月29日 | 参加申し込み(情報交換会申し込み含む)締め切り |
| 8月5日  | 参加申し込み(情報交換会申し込みなし)締め切り |

#### 〔情報の更新について〕

年会のホームページは天文教育普及研究会公式ウェブ内の以下のURLとなります。随時情報は更新されますので、ウェブページをチェックしておいてください。

<http://www.tenkyo.net/meeting/30th/>

また、更新情報はTenkyoメーリングリストで随時送信するほか、ソーシャルネットワーク(ツイッター、フェイスブックなど)でもお知らせいたします。

ツイッターアカウント @tenkyo30 (<https://twitter.com/tenkyo30>)

フェイスブックページ <https://www.facebook.com/groups/tenkyo30th/>

それぞれ、フォローおよび「いいね!」をあらかじめしていただき、情報が入手できる状態にされることをお勧めいたします。



---

**〔お問い合わせ先〕**

ご不明な点は、以下のアドレスまでメールでお問い合わせください。

2016meeting@tenkyo.net

以下の実行委員が対応いたします。

実行委員長：寺菌淳也（会津大学）

実行委員：荒木田英禎（日本大学）、安藤享平（郡山市ふれあい科学館）、伊藤芳春（聖和学園高）、亀谷收（国立天文台水沢 VLBI 観測所）、亀谷光（仙台市天文台）、高田淑子（宮城教育大学）、津村耕司（東北大学）、原田敦、嶺重慎（京都大学）

---

**第 30 回天文教育研究会 参加申込書**

（以下、該当する箇所を残して記載してください。）

氏 名： 【一般・学生】 【会員・非会員】  
ふりがな：  
所 属：

**1. 連絡先【自宅・所属先】**

住 所：〒

：

電 話：

FAX ：

電子メール：

今後の連絡方法【郵便・メール】

**2. 参加日程**

・参加予定日【 8 月 21 日（日）・8 月 22 日（月）・8 月 23 日（火）】

・情報交換会（8/22 夜）【参加・不参加】

**3. 派遣依頼（依頼状は実行委員長名で作成します）【必要・不要】**

必要な場合：（ 月 日までに 宛に）

**4. 自家用車での来場希望【あり・なし】**

（ご希望に添えない場合もございます。できるだけ公共交通機関でお越しください。）

**5. その他、ご意見、ご要望があれば、ご記入ください。**